

プレスリリース

報道関係各位

2010年3月31日
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント

想像を超えた新たな映像表現へ
3D プロジェクト始動！

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント(本社:東京都千代田区、代表取締役 北川直樹)は業界に先立ち、ソニーミュージックグループ各社の連携による 3D コンテンツ制作に着手し、新たな映像の楽しみ方を提案する3D プロジェクトを始動させることとなりました。

アーティストのミュージッククリップやライブ映像など、魅力あるコンテンツを 3D 化し、迫力ある映像体験を楽しむことができるプロジェクトとして、今後バラエティに富んだ企画を提供してまいります。

■3D(3次元)映像について

3D 映像は、人が両目で物を見る仕組みを利用し、両目に対して縦横の情報に加え、映像の奥行き感や飛び出し感を再現します。3D 映像の撮影時には、右目用・左目用の 2 つのカメラを用いて、それぞれ異なった角度で被写体を撮影します。視聴者は 3D 用メガネを着用し、再生時には、左右 2 つの映像を同時に上映、右目には右目用の映像だけを、左目には左目用の映像だけが見えるように画面に表示することで、視聴者の脳の中で左右 2 つの映像が重なり、立体的な映像として認識されます。(<http://www.sony.co.jp/united/3D/>)

以上